

# 中学生海外体験事業

平成25年8月21日から25日までの5日間、町内の中学生32人が海外体験事業に参加され、シンガポール共和国のメイフラワー校での授業や校外学習、ホームステイ体験にチャレンジし、貴重な交流をされました。

(順不同 原稿のまま掲載)

チャンギ国際空港



●上齋原中学校 三船 晴生

僕は、今回の体験事業に参加させてもらい多くの事を学びました。出発までの事前研修をはじめ、ホストファミリー、メイフラワー校の皆さん、多くの方々の協力で貴重な体験ができました。言葉が通じず困った事もありましたがジェスチャーでがんばりました。この経験を今後の学生生活に生かしていこうと思います。

●鏡野中学校 今西 史香

初めてのホームステイで緊張したけれど家族の方が親しみ易く話しかけてくださったのですぐうち解けることができました。日常ではなかなか英語が出てこなくて単語やジェスチャーで会話をしました。通じたときとてもうれしかったです。体験を通して英語をもっと学ぼうと思いました。この経験を将来に生かしていきたいです。

●鏡野中学校 福田 清葉

海外体験事業でシンガポールに行ってみて、まず一番に思ったことは、とてもきれいな国だなと思いました。ホストファミリーの方もメイフラワー校の方も、やさしくしてくれました。不安な気持ちもすぐなくなりました。メイフラワー校の授業は、いろいろな授業があり楽しかったです。

●富中学校 森江 茉美

今回の海外体験事業で一番うれしかったのは、友達が増えたことです。ホストファミリーの家の人も友達になれたし、鏡野町の他の学校の子とも友達になれました。言葉がちがっても仲良くできるということがよく分かりました。本当に参加してよかったと思います。

●鏡野中学校 右近 平羅

シンガポールに行って、外国の文化と日本の文化の違いや生活環境の違いがあることを自分で確かめることができてよかった。事前に調べていたことと違うこともありおどろくこともあったが、文化の違い人と一緒に生活しても、言葉は通じなかったが、心がかよい合うことができ嬉しかった。英語が話せるようになりたいとなった。

●鏡野中学校 宗川 彰毅

僕は、この事業で、英語を勉強する大切さを身をもって学びました。この事業に参加する前までは「同じ人間なのだから大体は伝わるだろう」と気楽に思ったりしましたが、実際は、生活に最低限必要なこと以外は伝わりにくく、単語も分からず、何よりも楽しく会話できません。今後のためにも必要不可欠なものだと思います。

●富中学校 和田 奏美

私は初めての海外でホストファミリーの人とうまく会話できるかどうか不安がたくさんありました。でも、初めて食べた料理や体験は発見がいっぱいで楽しい事ばかりでした。日本とシンガポールの環境について学ぶ事もできました。住む場所や言葉が違っても仲良くなれる事が分かりうれしかったです。良い経験になりました。

対面式で英語スピーチ



マーライオン公園

